

# シルバー てんどう

2020 第57号

令和2年9月1日発行

編集発行/  
公益社団法人天童市シルバー人材センター  
〒994-0013 山形県天童市老野森二丁目6番3号  
天童市総合福祉センター2階  
電話 (023) 654-7388 FAX (023) 652-0213  
ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/tendo/>  
メールアドレス tendo@sjc.ne.jp



グラウンドゴルフ場芝刈り作業

サクランボ発送作業

展示中古車の洗車作業



## コロナウイルスにも負けず、元気に就業!

新型コロナウイルスの感染が拡大している中でも、会員さんは様々な場面で活躍しました。サクランボ発送作業では、マスクの着用など感染防止対策を徹底した上で就業しました。

## 祝 米寿・喜寿

1月に開催した会員互助会「もみじ会」の新年会。有志による詩吟が披露され、米寿・喜寿のお祝いに花を添えました。

安全就業スローガン

無茶と無理

するなさせるな 見逃すな

令和元年度 山形県シルバー人材センター連合会 安全標語「最優秀賞」  
高掬三字班 奥山 眞一 会員

## 目次

- 理事長あいさつ ..... 2
- 地域班長・副班長紹介 ..... 3
- 理事・監事紹介 ..... 4
- 特集！新型コロナ影響調査 ..... 5
- わが町探訪 蔵増地域 ..... 6

## シルバーパワーを発揮し 難局を乗り切ろう

理事長 近藤 壽一

会員の皆さんに置かれましては、「安全は全てに優先する」を合言葉に、安全就業に努めていただき感謝を申し上げます。

令和2年度定時総会は、新型コロナウイルスの感染防止策として、会員の命と健康を第一に、「書面による議決権の行使を認める」を採用しての開催となりました。会員の皆さんにはその趣旨にご理解のうえ、議案第1号及び第2号も原案通り承認をいただき、役員一同は事業計画に基づいて事業運営にまい進する決意であります。

新型コロナウイルスは、我が国の社会経済に深刻な事態をもたら

し、天童市においても観光産業とサービス業の休業が相次ぎ、シルバー人材センターの事業も大変な影響を受けております。

先の見通しが立たない現時点において、解決策を見出すことはできませんが、事業主より依頼された就業を滞りなく推し進め、シルバー人材センターへの信頼を維持拡大することが私たちにできる最善策と考えます。

7月以降は、首都圏から地方へと第2波の感染拡大が見受けられ、厳しい状況にある今こそ会員と役員は共通の認識に立ち、就業対策に取り組むべきと考えます。その中

心が新たな就業先の確保と会員の加入拡大であります。

山形県は少子高齢化の著しい進行から、労働力人口の減少が大きな社会問題となっておりますが、優れた知識と豊かな経験を活かして就業に励んでいるシルバー人材センターの社会的役割は一層大きくなると思います。

一方、県内企業も「高年齢者雇用安定法」の改正を受け、働ける環境整備に努めております。その結果、シルバー人材センターへの加入年齢も年々高くなり、会員数も減少傾向にあります。私たちは創意工夫を凝らし事業運営に努める所存であります。

そのような中であって、我が国の平均寿命は年々延び、人生100歳時代の到来も、遠くない未来かも知れません。

長い人生を謳歌するには、日々の生活を支える経済的な裏付けが重要となりますが、さらに重要なことは心身共に

健康を維持し、生きがいのある充実した日々を過ごすことではないでしょうか。

「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、シルバー人材センター会員として活躍し続けることが地域に活力を生み出し、地域社会の福祉と活性化に寄与することになるのです。

優れた知識と豊かな経験から、シルバーパワーを発揮し、厳しい難局を乗り切りますよう。



令和2年度定時総会の様子

# 令和二年度 定時総会開催

6月12日(金)に天童市総合福祉センターにおいて、令和2年度定時総会が行われました。

総会は原則、会員が一同に集まり開催されるものですが、今回は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により会場の予約が困難であること、そして会員の皆さんの健康と安全を第一に考え、役員など少人数での開催とし、一般会員の皆さんには、委任状または書面での議決権の行使による採決へ参加いただきました。(委任状85名、議決権行使書316名、本人出席21名)

久野本2班の伊藤寛二さんが議長に選出され、令和元年度の事業報告・決算、令和2年度の事業計画・収支予算が賛成多数で承認されました。任期満了に伴う役員改選では、新たな理事・監事14名を選任しました。その後、この

総会をもって退任された工藤泰子理事、佐藤功監事の表彰式を執り行い、閉会となりました。

引き続き行われたもみじ会定期総会では、令和2年度事業計画など全ての議案が無事に承認され、新役員8名が選出されました。



工藤泰子理事



佐藤 功監事

## 地域班長・副班長紹介

任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日

No.	地域班	会員数	班 長	副班長
1	北目班	10人	今野 勇	門脇 亨
2	田鶴町班	8人	村田健二郎	滝口 信一
3	南町班	12人	金木 稔	神保 正行
4	郭北・駅西班	15人	井上 祥孝	柿崎 秀雄
5	郭南・南小畑班	15人	大原 忠邦	須藤 和子
6	駅東班	11人	斎藤 宏志	
7	老野森班	6人	北村 淳一	
8	久野本1班	19人	今田 久夫	
9	久野本2班	9人	伊藤 寛二	
10	久野本3班	11人	松田 五郎	鈴木五一郎
11	柏木町班	29人	外山 正芳	進藤 晃男
12	交り江班	24人	須藤 忠治	遠藤 秀雄
13	泉町班	10人	川崎 恒雄	土岐 五郎
14	糠塚班	6人	渋谷 勝子	
15	北久野本東・天童原班	20人	菱川 勝利	松田 仁志
16	北久野本西班	5人	仁藤 孝	笹本 進
17	北久野本中央班	9人	増川 彰蔵	小西 淳彦
18	北久野本北班	11人	佐藤 重雄	佐藤 勁

No.	地域班	会員数	班 長	副班長
19	乱川班	16人	石山 茂夫	大泉 達子
20	小関・高木班	20人	柳川 勇三	押野 茂孝
21	成生班	11人	伊藤 幸雄	細矢 要
22	塚野目・矢野目班	15人	大沼 幸二	山本 正敏
23	蔵増班	20人	結城 正信	
24	寺津班	8人	鈴木 秀雄	
25	津山班	14人	滝口 清男	
26	温泉班	13人		
27	山口班	17人	村山 三郎	小川 京子
28	高掬本村班	13人	三宅 雄二	遠藤 茂
29	高掬三字班	18人	遠藤 清道	後藤 美枝
30	中里西班	13人	下野 勝男	佐藤たか子
31	中里東班	24人	森谷 富夫	横地 進
32	東長岡班	23人	佐久間 勉	丹羽 賢治
33	長岡北・東芳賀班	21人	槇 和明	壺谷マツ子
34	干布班	19人	畑山 和紀	工藤恵美子
35	荒谷班	14人	東海林文雄	相馬かつ子

令和2年8月現在の会員数 男性344人 女性165人 合計509人

◎ 新役員紹介 ◎

※任期は、令和4年度に開催する  
定時総会の終結の時まで

 理事 柳瀬 昇 柏木町班	 理事 庄子 京子 久野本2班	 理事 渡邊とき子 泉町班	 理事 大泉 邦男 乱川班	 常務理事 三澤 一弘 荒谷班 事務局長兼務	 副理事長 奥山 眞一 高橋三字班	 理事長 近藤 壽一 南町班
 監事 公平 仁 蔵増班	 監事 丹羽 賢治 東長岡班	 理事 瀧口 恵子 蔵増班	 理事 松田 則吉 久野本1班	 理事 神保 正行 南町班	 理事 長岡 喜市 糠塚班	 理事 高橋 利秀 郭北・駅西班

◎ 委員会紹介 ◎

安全・適正就業委員会

- 委員長 長岡 喜市
- 副委員長 高橋 利秀
- 委員 鈴木 開・相馬 敏秋
- 石澤 栄子・奥山 芳夫
- 荒木 成子

就業調整委員会

- 委員長 奥山 眞一
- 副委員長 神保 正行
- 委員 渡邊とき子・庄子 京子
- 三澤 一弘

広報委員会

- 委員長 大泉 邦男
- 副委員長 庄子 豊子
- 委員 瀧口 恵子・伊藤 寛二
- 佐久間 勉

※任期 令和2年7月14日〜令和  
4年5月31日まで

◎ もみじ会 役員紹介 ◎

- 会長 柳瀬 昇
  - 副会長 渡邊とき子
  - 幹事 金木 稔・菅野美知子
  - 星川カズヨ・公平 仁
  - 監事 庄子 京子・伊藤 寛二
- ※任期 令和2年6月14日から  
2年間

◎ 事務局紹介 ◎

- 事務局長 三澤 一弘
- 次長兼総務係長 今野 秀昭
- 業務係長 柴田 哲也
- 業務係主事 海老名由里
- 主任事業推進員 長瀬 淳子
- 事務補助員 熊澤久美子

◎ 主な担当

就業内容	担当
植木剪定・雪囲い・ 消毒	柴田
障子・襖・網戸張 り替え	海老名
賞状筆耕	海老名
建物管理全般	柴田
草取り・草刈り・ 畑うない	柴田
果樹農作業	海老名
屋内清掃	海老名
軽度生活援助 (掃除・ゴミ出し・ 買い物・通院介助・ 除雪)	海老名
派遣	長瀬

### 福祉センター管理業務・果樹農作業 柿崎 秀雄 会員

福祉センターの管理業務と果樹農作業を掛け持ちしている柿崎さん。新型コロナウイルスによる影響は職種によって違いがあるようです。

利用者への窓口対応が中心となる福祉センターの仕事では、緊急事態宣言の発令により施設の貸出が停止となったため、一日5時間2人体制から一日3時間1人体制に縮小されました。一方、農作業は全く影響なく、例年通りの就業ができたといいます。

現在、福祉センターの仕事は通常体制に戻り、利用者も次第に増えてきているようです。そのため、「感染しない・させない」を念頭に、手洗い、手指の消毒、マスクの着用を常に励行しているとのこと。農作業では、園主からマスク着用の強要はないようですが、マスクは常備しているといいます。

そんな柿崎さんがコロナ終息後一番にやりたいのは、趣味のゴルフ。「コロナ」の文字が消えた中で思いっきりプレイしたいと思いを馳せていました。



### 「滝の湯ホテル」洗い場業務 矢野紀代子 会員

矢野さんは、7年前にシルバーに入会し、「滝の湯」の洗い場業務につきました。新型コロナウイルスの拡大によって、職場環境と仕事量は大きく変わったようです。

コロナ以前の仕事は、一日5時間を週4・5回でしたが、現在は一日3時間を週1回がやっとのこと。就業日数が減ったことで、8人いる仕事仲間と顔を合わせることがなくなり、悲しいといいます。

そんな中、6月にはサクラノボ農家に詰め方として就業しました。職場のコロナ対応には気がかりな点もあったようですが、自分としてはマスクの着用を心掛け作業を行ったそうです。

今一番の願いは、一日も早いコロナの終息と、もと通りになった職場で、以前のように仲間と楽しく働くことと話してくれました。

## 特集企画!! 新型コロナウイルス 影響調査!!

様々な業種で働く会員さん3名に新型コロナウイルス感染症による就業への影響について広報委員がインタビューをしてみました。

## 新型コロナウイルス 関連用語集より

- ① **ウィズコロナ**  
—新型コロナウイルスと共存・共生すること
- ② **アフターコロナ**  
—新型コロナウイルスの感染拡大が終息してからの世界
- ③ **ビフォーコロナ**  
—新型コロナウイルスが発生する前の世界
- ④ **テレワーク**  
—情報通信技術を活用し、時間や場所の制約を受けずに柔軟に働くことのできる勤務形態
- ⑤ **エッセンシャルワーカー**  
—社会生活を成り立たせるために欠かせない仕事に従事する人（医療従事者、社会福祉・介護従事者、農業従事者など）



### 学童保育補助業務 名和 幸子 会員

名和さんは、学童保育補助の仕事始めて4年。今年3月新型コロナウイルスの感染拡大により全国の公立学校が一斉休校したことにより、仕事量が増大したといいます。

休校前は一日2時間月7回だった仕事が、休校後は一日3時間月12回と回数、時間とも大幅に増加し、一日のうちに午前と午後2回勤務することもあり、多忙をきわめました。現在は、一日3時間の勤務をこなしています。

感染防止対策としては、マスクの着用、手洗い、消毒（手指、トイレ、ドアノブ、玩具等）、朝の体温測定、手作り菓子の休止、換気のため窓を開けての冷房等、細心の注意をはらっているようです。

今は帰省が難しい状況ですが、コロナが終息した時には、神奈川県に住む娘さんにいつでも自由に会いたいと話していました。

◆蔵増地域について

蔵増地域は、山形盆地のほぼ中央部で最上川の右岸に位置し、1889年（明治22年）

に東村山郡の蔵増（塚野目）は北蔵増に属す。矢野目・高野辺・窪野目の4ヶ村が合併し、現在の蔵増地域になりました。

蔵増には室町期の城跡があり、蔵増城といわれています。高櫓城主・高櫓義直の子孫が築城し、代々倉津安房守を名乗っていました。

蔵増という地名が出てくるのは、室町時代後期の戦国時代に入ってからで、その頃には小城下町が形成され、蔵増集落の原形が出来ていたと伝えられています。

また、1580年（天正8年）最上義光が西を流れる最上川の三難所といわれる碁点羽狭を開削してからは、舟運が発達し、寺津河岸ほど

わが町探訪 第十回 蔵増地域  
市内の名所・旧跡、地域の話などを紹介します。

大きくはありませんでしたが、船戸という船着場があり、賑わっていました。

天童周辺の米や紅花、真綿等は、1901年（明治34年）の奥羽本線の開通まで、ここから酒田に運ばれていました。

このような歴史を持つ蔵増地域は1,054世帯、人口3,299人です。（令和2年7月末時点）



◆西沼田遺跡

蔵増地域にある西沼田遺跡は、昭和60年のほ場整備事業に伴う

発掘調査により、6世紀を中心とする古墳時代後期の農村集落遺跡であることが確認され、昭和62年に国史跡として指定を受けました。

その後の調査で平地式住居14棟、高床倉庫2棟、建築部材や木製の農具などが出土し、私たちの祖先が暮らした古墳時代の生活を総合的に知ることのできる貴重な遺跡です。

平成20年に西沼田遺跡公園がオープンし、ヌマリンピックと称し、古代七種競技大会や弓矢体験などのイベントが行われています。また、ぬまりん館内には遺跡から発掘された1500年前の道具の数々が展示されていて展示物の解説も行われています。

勾玉つくりなどの体験学習も連日行われていますので、ぜひ足を運んでいただいで、物づくりの体験や古代空間に触れ合ってください。

\*わが町探訪の編集にあたり、市立蔵増公民館のご協力をいただきました。

広報委員 瀧口 恵子  
(蔵増班)



■新型コロナウイルス感染症の影響により私たちの生活は一変しました。

■シルバー人材センターの会員の就業にも大きな変化があり、仕事量が増えて就業時間が長くなった方、反対に仕事量が減り就業時間や日数が減少した方など様々です。

■聞きなれない専門用語が飛びかう中、旅行や各種イベントの自粛、離れて暮らす家族との再会もままならず、今までの日常生活は制限されております。

■今、私たちがやらなくてはならないのは、小まめな手洗い・うがい、不要不急の外出自粛、3密を避け、これ以上の感染者を増やさないための努力です。

■もう少しの辛抱です。私たち会員も強い意志を持って乗り切ってくださいませう。

広報委員会

大泉 邦男 庄司 豊子  
瀧口 恵子 伊藤 寛二  
佐久間 勉